特集

これ一冊で安心！わが家の防災ガイドブック

いざというときの備えとして、市では新たに曽於市防災ガイドブックを作成しました。災害はいつどこで起こるか分かりません。防災ガイドブックを読むだけではなく家族や地域で話し合いや実践することで、あなたの命を守る頼れる味方になるかもしれません。

防災ガイドブック（Web版）

市ホームページから見れます

曽於市危機管理監

吉松 博幸さん

経 歴

財部高校卒業後に大隅曽於地区消防組合へ入職。消防・救助などの業務にあたる。平成17年に救急救命士の資格を取得し救急医療行為にも携わる。42年勤務し現場経験が豊富。令和6年度から曽於市危機管理監として任用。

危機管理監に聞いてみた！

ガイドブック発行の経緯や特徴

市民の防災意識の向上を目的に、平成28年に発行した防災ガイドブックの改訂を行いました。特徴は大きなB4サイズとしたことで、文字や地図が読みやすいところです。またスマートフォンで専用アプリをダウンロードして、各ページ記載の二次元コードを読み取れば音声読み上げもできます。

ガイドブックの使い方

自宅周辺や通勤・通学経路が土砂崩れなど起きやすい場所かどうか地図で確認しましょう。あわせて非常時持出品・備蓄品などを各家庭の状況にあわせて確認しましょう。食料・水は最低でも家族の人数×3日分の備えが必要です。また災害情報を知る方法や避難方法なども記載しているので確かめておきましょう。

ガイドブックを持っていない人は？

本庁総合案内窓口・総務課危機管理室・各支所地域振興課にて1世帯に1冊ずつ配布しています。また市のホームページから見ることもできます。
自分や家族の命を守るためには自ら備えることが重要です。その第一歩として防災ガイドブックを活用してほしいです。

曽於市で地震・大雨が発生したら？

山林が多く山崩れが発生しやすいです。また各町市街地に川が流れており、氾濫や液状化現象も起きやすいです。南海トラフ地震が30年以内に約80%の確率で発生すると言われています。最近ではトカラ列島の群発地震や新燃岳の噴火なども発生しています。災害はいつどこで起きるか分からないので日頃から備えましょう。

日頃からの防災対策

防災ガイドブック2ページ

突然の災害に備えて日頃からできる防災対策をしましょう。

家の中に安全な逃げ場をつくる

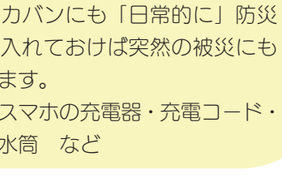
人の出入りが少ない部屋に家具をまとめるなど、安全なスペースができるよう配置替えをしましょう。

急な停電時の対応策を知っておく

ブレーカーの位置を知り、スマートフォンのライトや懐中電灯を活用できるよう準備しておく。

家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすいので、家具の下に小さな板などを差し込み、壁や柱によりかかるよう固定しましょう。金具や固定器具を使うのもよいでしょう。



家具の配置には注意を

出入口や通路

玄関までの通路に家具など倒れやすいものがあると、避難の際に出入口をふさいでしまうかもしれません。

寝室や子ども・高齢者のいる部屋

就寝中に地震に襲われ家具が転倒すると逃げ遅れる可能性があります。

防災ガイドブックや市防災マップ（Web版）を見て自宅周辺が、土砂災害警戒区域などに該当していないか見てみましょう。また近くの指定避難所・指定緊急避難所がどこにあるのか確認しましょう。

非常時持出品を準備

防災ガイドブック3~5ページ

いざというときにすぐに持ち出せるように日頃から準備・点検をしましょう。

携帯ラジオ
電池を多めに用意

救急医療品
常備薬・絆創こう・ふだん飲んでいる薬など

貴重品
現金・印かん・マイナンバーカードなど

懐中電灯
できれば1人にひとつ

非常食品など
人数×3日分

非常時持出品は両手が使えるリュックサックに入れて、玄関などすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

普段使うカバンにも「日常的に」防災グッズを入れておけば突然の被災にも対応できます。
例えば、スマホの充電器・充電コード・笛・飴・水筒　など

ローリングストックを始めてみよう

普段の食品・日用品を少し多めに買い置きします。賞味期限が近いものから消費し、消費した分を買い足すことで一定量の食品が備蓄されている状態を保つための方法です。
普段から慣れている食品や日用品を災害時にも利用できることで精神的な安定にも繋がります。

警戒レベルで情報把握 防災ガイドブック12ページ

警戒レベルは水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動を知らせるために５段階にレベル分けしたものです。警戒レベル１～２は気象庁が、警戒レベル３～５は市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報など（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）		
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報など		防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
					浸水情報（河川）	土砂災害情報（雨）
5	災害発生または切迫	命の危険　直ちに安全確保	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警戒（土砂災害）
	警戒レベル４までに必ず避難！					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報	――
1	今後気象状況悪化の恐れ	災害への心構えを定める	早期注意情報	1相当	――	――

危険な場所にいる人は「警戒レベル３ 高齢者等避難」や「警戒レベル４ 避難指示」が発令されたら、地域の皆さんで声をかけあって安全・確実に避難しましょう。

避難の心得

避難は自ら判断しましょう

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。「自分の命は自分で守る」という意識を持って早めの避難を心がけましょう。

命を守る最低限の行動をしましょう

危険な状況での避難は出来るだけ避けましょう。大雨や土砂災害などで屋外への避難が困難な場合は２階や構造的に安全な部屋へ移りましょう。

指定避難所について 防災ガイドブック16～17ページ

	校区・地区	避難所
末吉町	末吉	そお生きいき健康センター
	櫃・高岡	南之郷地区体育館
	岩北	祝井谷連合公民館
	岩南	岩﨑地区農業研修センター
	諏訪	諏訪地区公民館
	光神	光神地区公民館
	柳迫	柳迫地区公民館
	深川	深川地区公民館
財部町	財部	財部保健福祉センター
	財部南	財部南地区公民館

	校区・地区	避難所
財部町	財部北	財部北地区体育館
	中谷	中谷地区公民館
大隅町	岩川	大隅農産加工センター
		岩川地区農業構造改善センター
	菅牟田	大隅農村環境改善センター
	笠木	笠木地区公民館
	大隅北	大隅北地区公民館
	恒吉	神牟礼地区集会施設
	大隅南	大隅南地区農業構造改善センター
	月野	広津田自治公民館

※災害の状況によって上記以外の避難所を追加開設する場合があります
※開設する避難所や時間は公式 SNS・そおグッド FM・緊急速報メールで発信します

災害情報の入手方法 防災ガイドブック15ページ

防災気象情報はテレビやインターネットのほか様々な媒体で発信しているので、最新の災害情報を知る方法を確かめておきましょう。また災害直後は公的支援が間に合わないケースが多いため「自分で備え・判断する」ことが減災に繋がります。

気象庁

市の防災情報・天気・危険度分布（キキクル）などをリアルタイムで確認できます。

曽於市防災 MAP（WEB版）

市内の防災マップをパソコンやスマートフォンから確認できます。

曽於市河川監視カメラシステム

市内７か所の河川の状況をパソコンやスマートフォンから確認できます。

九州停電情報提供アプリ

エリアを登録することで停電などの通知を受け取ることができます。

防災ラジオ

市では防災ラジオを各世帯に１台無償で配布しています。受け取っていない世帯や、故障した場合はお問い合わせください。

曽於市公式 LINE

市公式 LINE を友だち登録しておくことで災害時にも素早く情報を受け取ることができます。

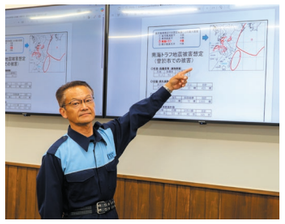
問 総務課 秘書広報係 ☎ 0986-76-8801

防災出前講座を行います！

危機管理監が各地域に出向いて防災出前講座を行います。災害への備えなど困りごとはありませんか？
講座開催の要望などありましたらご相談ください。

対　　象 ▶ 市内の学校区・地区公民館、コミュニティ協議会、自治会、学校　など
講座内容 ▶ 災害への心構えや備蓄品について、防災ガイドブックの使い方など
期　　日 ▶ 平日・休日問わず対応可能
場　　所 ▶ 各校区・地区公民館などでお集まりの場所に伺います

※ 講座は原則１時間程度で、講師料は無料です。
　お気軽にお問い合わせください



問 総 務 課　危機管理室　☎ 0986-76-8876
　 大隅支所　地域振興課　☎ 099-482-5921
　 財部支所　地域振興課　☎ 0986-76-0931